

11 月度土曜例会 (2008/11/15)

11 月 15 日の例会のゲストスピーカーはガーナ出身の Mercy Anna Nuamah さん、日本に来られて 16 年になります。スピーチのタイトルは、**The Present World** でした。

The Present world は Mercy さんの自作の詩のタイトルでもあります。Mercy さんは"present"の 2 つの意味「現在」と「贈り物」の説明から始められました。

Mercy さんの自作の **The Present World** には、この 2 つの意味が含まれています。

では、Mercy さんの詩を紹介します。



The Present World by Mercy Anna Nuamah MD,Ph.D

"Time Flies" but Life is not a Race.

"The Years end and begin like Tangerines"
but Life goes on and never returns.

The memories of yesterday are the joy of
today but the hardships of past years
are the guide of years to come.

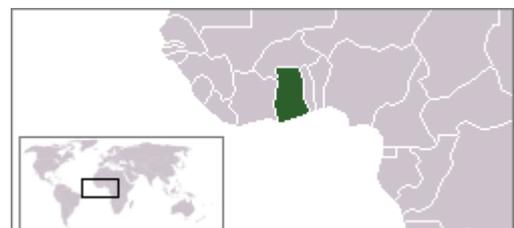
We meet and part but "friends cannot be sold
for or bought with money."

Let's be grateful for the past, for the
experiences we have.

Let's be hopeful for the future, for the
dreams we have.

Let's be thankful for now, for the
Life we have.

It is a gift that is why we live in the Present World



Mercyさんは医師で、詩人ではありませんが、色々辛い経験をした二年を振り返った時、この詩が自然に心に浮かんできたそうです。さらに、「経験は最高の先生であり、失敗から学び、経験を積み重ねる事で物事に上達できる。」とおっしゃっていました。出席していた会員は皆、この詩の説明にとっても感動しました。

ガーナは、野口英世が黄熱病の研究をした所としてよく知られています。世界地図の経緯0度と赤道が交わる所に位置し、「世界の中心」ともいえます。サハラ砂漠の以南のアフリカ諸国で、初めて現地人が中心となってイギリスから独立しました。かつてはゴールドコーストとよばれた海岸を保有し、ダイヤモンドと金を産出しています。

・

ガーナ国旗

赤色は、独立するために流された血、
黄色は、鉱物資源と富、
緑色は、森林と自然の恩恵、
黒い星は、アフリカの自由を表しています。

「好きな日本のことわざはなんですか？」に「失敗は成功のもと。」、「急がば回れ。」、「能ある鷹は爪を隠す。」と答えられました。



医師として将来の夢は、ご自分の医院を持つ事だそうです。

出席していた会員から、次の感想が寄せられました。

マーシーさんの分かり易い言葉で、素晴らしいポエムを聞きました。人生は決して競争ではない。何事も自分にとってなくてはならないもの。人との出会いと別れも大切なこと。本当に私もそう思います。決して戻ることはできないのだから、今を大切に生きていきたいものです。